



【改版履歴】

版数	改版内容
1	初版発行
2	<p>3-5 CTを接続する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章変更 N相へのCT取り付け禁止の旨の注意事項追加 ・図にコメント追加 CT取り付け図『カチッと…』のコメント追加
3	<p>1-1 本システムの特長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章変更 「24時間365日、安心の見守り」の文章変更 ・誤記訂正 「太陽光発電システムと連携すれば」の買電中を売電中に訂正 <p>2-4-7 コンクリート基礎・アンカー工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文言追加 排水性に配慮してください。 <p>3-3-2 各ケーブルを引き込む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤記訂正 手順5の説明順番変更 <p>3-3-6 接続確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤記訂正 手順3の推奨締め付けトルク値を1.0N/mに訂正 <p>3-6-1 電源を投入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤記訂正 手順10の推奨締め付けトルク値を1.0N/mに訂正 <p>3-6-4 ネットワークを設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモ追加 プロキシサーバの設定についてメモ追加 <p>3-6-7 施工IDを設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモ追加 手順4にセルフテスト時の注意点についてメモ追加

	<p>3-6-11 サンシェードを取り付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモと図を追加 手順4にサンシェードの隙間をなくす旨のメモと説明図を追加 <p>5-3 セルフテスト結果コード一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文言追加 7項にセルフテスト時の注意点を追加 <p>6-1-1 蓄電ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表に項目追加 項目に型番を追加、内容に6種の型番追加
<p>4</p>	<p>1-4 安全にお使いいただくために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置工事時の取扱について、アンカー精度に関する注意事項追加 <p>2-4-7 コンクリート基礎・アンカー工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注意事項、及びメモ追加。 ・条件の文言変更 「水がたまらないように排水性に配慮してください。」 「基礎の設置スペースは次ページの推奨値を参考にしてください。 設置スペースの確保が難しい場合は設置ができない、あるいは、保守サポートができない可能性がありますので、事前にお買い上げの販売店または NEC スマートエネルギーサポートセンターにご相談ください。」 「アンカーボルトの埋設ピッチは、幅 750mm(±4mm) × 奥行き 250mm(±4mm) としてください。」 「蓄電ユニットを水平に設置してください。」 ・挿絵修正、及び追加 <p>3-6-3 運転モードを設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・06 契約電流容量を設定する メモ内の設定欄の誤記訂正 【変更前】アンペアブレーカ容量 【変更後】主幹ブレーカ容量 <p>6-1 仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蓄電ユニット 定格出力欄備考に対し、以下の文言変更 【変更前】 買電量が 90W 以上の場合は 90W を超えた分を放電します。 買電量が 90W 以下の場合は放電しません。

	<p>【変更後】</p> <p>放電中には系統への逆潮流を防止するために蓄電システムからは使用電力量(太陽光発電から供給されている電力量は除く)の約 95%までを放電し、残り約 5%は買電します。</p> <p>6-4 用語集 ・逆潮流の用語説明追加</p>
5	発行無し
6	<p>全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手順、項目追加に伴う、目次、ページ番号の修正 ・チェックシート項目追加に伴う、チェックシート項番の修正 ・文言、図の誤記訂正 ・型番修正 <p>表紙・裏表紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「販売店・設置工事業者様へ」に以下の文言を追加 「製品が故障するおそれがあります。」 <p>2-2 構成品を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明追加 添付品に「(※)」マークを追加し、表下に「※添付品(添付品箱に同梱)」を追加 <p>2-2-1 構成品一覧(蓄電ユニット)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品目追加 11に「SPD ASSY」、12に「すきまパテ」を追加 <p>2-2-3 構成品一覧(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記載箇所移動 1~7を 2-2-4 構成品一覧(別売り品)に移動 ・品目追加 7に「検査成績書(出荷検査)」、8に「検査成績書(PCS)」、9に「構成品一覧」を追加 <p>2-2-4 構成品一覧(別売品)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本項の追加 <p>2-3-1 部材(設置前の工事で使用するもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PF 管の備考内の誤記訂正

<p>【変更前】未来工業:MFSK-22G 【変更後】未来工業:MFSK-22GP</p> <p>2-4-2 結線例</p> <ul style="list-style-type: none">・図のコメント追加、文言追加 蓄電システム用分電盤の漏電遮断器に「※」を追加し、図下に以下を追加 「※ 必ず過電流保護機能付き漏電遮断器を使用してください。」・メモの追加 「・ 屋内配線工事は「電気設備に関する技術基準を定める省令」および「内線規程」など関連法規に従い、第一種または第二種電気工事士が行ってください。」 <p>2-4-10 PF 管敷設工事</p> <ul style="list-style-type: none">・PF 管の説明の誤記訂正 【変更前】未来工業:MFSK-22G 【変更後】未来工業:MFSK-22GP <p>3-3-3 接地線を接続する</p> <ul style="list-style-type: none">・手順修正 以下の手順を3-3-4項から移動 『ジャンクションボックス内のブレーカ「CB1」「CB3」が「OFF」になっていることを確認する』 <p>3-3-4 電力線を接続する</p> <ul style="list-style-type: none">・手順修正 「ESS-003007C0 の場合」と「ESS-003007C1,ESS-003007C1-M5 の場合」に手順を分岐 <p>3-3-6 接続確認</p> <ul style="list-style-type: none">・手順修正 「ESS-003007C0 の場合」と「ESS-003007C1,ESS-003007C1-M5 の場合」に手順を分岐・手順追加 「蓄電システム用ブレーカの入力電圧を測定する」 「系統電力線の絶縁被覆の色を確認する」 <p>3-6-8 セルフテストを行う</p> <ul style="list-style-type: none">・手順4の手順修正 【変更前】『パラメータ設定指示書 兼 現地設定値メモ』に従って、設定が正しく完了しているか確認する 確認結果を『設置工事・試験調整チェックシート項番 26』に記入する
--

	<p>【変更後】『パラメータ設定指示書 兼 現地設定値メモ』に従って、設定が正しく完了しているか、セルフテストを完了したか確認する 確認結果を『設置工事・試験調整チェックシート項番 34、35』に記入する</p> <p>セルフテスト中にセルフテストを中止したい場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明修正 手順 4 の説明を具体化 <p>5-3 セルフテスト結果コード一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明追加 以下のセルフテスト回避手順の説明を追加 「※ セルフテストを一時的に回避する場合は、以下に従ってください。 ①  ボタンと操作パネル底面のメンテナンススイッチを同時に押す。 →セルフテストを一時的に回避し、本システムが再起動したあと運転状態に移行します。 (移行しない場合はほかになんらかの異常が発生しています。結果コード 16 桁をすべてメモし、NEC スマートエネルギーサポートセンターにご連絡ください。) ② CT 異常を改善する。 ③  5-2 保守メニュー (P.111) の手順に従い、セルフテストを実施する。 (必ずセルフテストを実施してください。セルフテストを完了せずに運用開始した場合、NEC の保証対象外となります。)」 <p>6-1-1 蓄電ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明追加 環境条件の温度の運用に「※」を追加し、備考に以下説明を追加 「※温度範囲内であっても、PCS の内部温度が高温になった場合、温度上昇抑制機能が働き PCS の出力を抑制します。」 <p>6-5 パラメータ設定指示書 兼 現地設定値メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 2 版に差し替え <p>6-6 設置工事・試験調整チェックシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 3 版に差し替え
7	<p>2-4-2 結線例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図のコメントに文言追加 【変更前】「必ず過電流保護機能付き漏電遮断器を使用してください。」 【変更後】「必ず過電流保護機能付き漏電遮断器(接続する線数に応じ、漏電検知可能なもの)を使用してください。」

<p>8</p>	<p>全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページ番号の修正 ・チェック項目削除に伴う、チェックシート番号の修正 <p>2-1 開梱する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図の修正 <ul style="list-style-type: none"> 手順2・手順3の図のサイドパッド構造修正 <p>2-2-1 構成品一覧(蓄電ユニット)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品目修正 <ul style="list-style-type: none"> 11 項の「SPD ASSY 項目」を削除 <p>2-4-6 操作パネル取り付け位置の選定(下穴・壁開口)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図の修正 <ul style="list-style-type: none"> 図に、下側メンテナンススペースの図示を追加 <p>2-4-9 壁貫通工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図の修正 <ul style="list-style-type: none"> 図の「コンクリート基礎の上面から 800 以内」の矢印箇所修正 <p>3-3-4 電力線を接続する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手順修正 <ul style="list-style-type: none"> 「ESS-003007C1 の場合」の手順(SPD 取り付け手順)を削除 「ESS-003007C0 の場合」と「ESS-003007C1 の場合」の条件分けを削除 <p>3-3-6 接続確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手順修正 <ul style="list-style-type: none"> 「ESS-003007C1 の場合」の手順(SPD 取り付け済み手順)を削除 「ESS-003007C0 の場合」と「ESS-003007C1 の場合」の条件分けを削除 手順 5 にパテ埋め手順を追加 (型番を確認し「ESS-003007C1 の場合」のみパテ埋めを行う。) <p>3-6-3 運転モードを設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモ修正 <ul style="list-style-type: none"> 「06 契約電流容量を設定する」にメモを追加 「06 契約電流容量を設定する」のメモから「契約ブレーカ」の文言を削除
----------	--

	<p>4-1 屋内外の清掃・整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモ追加 操作パネルの画面保護シールについてのメモを追加 <p>5-6 お問い合わせの前に・裏表紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図の修正 「電話」をフリーコールスーパーロゴに修正 <p>6-6 設置工事・試験調整チェックシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4版に差し替え
9	<p>全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページ番号の修正 ・チェック項目追加に伴う、チェックシート番号の修正 <p>表紙・裏表紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問い合わせ先を削除 <p>2-2-3 構成品一覧(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図の修正 「クイックガイド」、「パラメータ指示書 兼 現地設定値メモ」を差し替え <p>3-3-4 電力線を接続する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモ追加 「誤接続があった場合、装置が故障する原因になります。」を追加 <p>3-6-3 運転モードを設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手順追加 項目に「アンペアブレーカ設定」を追加 手順に「06 アンペアブレーカ有無を設定する」を追加 <p>3-6-5 時計を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文言修正 「現在の日時に変更する」に修正 <p>3-6-9 動作確認試験 を行う 05 ネットワーク接続試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモ追加 上位サーバー接続状態に「接続:NG」が表示された場合のメモを追加

	<p>5-3 セルフテスト結果コード一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目追加 「15 桁目と 16 桁目に「*」が表示されている場合」を追加 <p>5-6 お問い合わせの前に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問い合わせ先を「設置工事業者様向け窓口」の番号に変更 <p>6-1-1 蓄電ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明修正 システムへの逆潮流を防止についての説明を修正 <p>6-5 パラメータ設定指示書 兼 現地設定値メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 3 版に差し替え
<p>10</p>	<p>3-6-3 運転モードを設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「06 アンペアブレーカ有無を設定する」のアンペアブレーカ「無」の画面の絵を変更する。 <p>3-6-8 セルフテストを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起動後に上位サーバー接続 NG の場合にメッセージアイコンが表示されることを記載。 <p>3-6-9 動作確認試験を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上位サーバー接続 NG の場合にメッセージアイコンが表示されることを記載。 <p>5-2-2 保守メニューで設定を変更する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤記修正 “整数値”→”整定値” <p>5-4 メッセージ一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表にメッセージアイコンが表示された場合の対処法を記載。 <p>5-6 お問い合わせの前に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銘板例を変更。 <p>6-1-2 操作パネル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ECHONETLite 対応バージョンを Release H 対応に変更。